

新型コロナウイルス感染症の院内感染事案の発生について(第1報)

市立奈良病院において、看護職員1人(市内)の感染が判明し、当該職員が看護した入院患者1人(市内)の感染も判明しました。

1 発生場所

市立奈良病院(所在地:奈良市東紀寺町一丁目 50-1)

2 感染者の概要(看護職員1人、入院患者1人)

	感染者	関係部門	発症日	報道発表日	推定経路
1	看護職員A	病棟①	8月18日	8月20日(感染者11229例目、市3218例目)	県内感染者と接触(飲食)
2	入院患者B	病棟①	8月21日	8月23日(感染者11727例目、市3325例目)	院内感染

3 PCR検査の状況

(1)看護職員A関連(8月25日までの判明分)

区分	検査対象	結果判明数	
		陽性	陰性
看護職員	7	0	7
看護補助職員	2	0	2
患者	62	1 (入院患者B)	61
合計	71	1	70

(注) 市立奈良病院が検査を実施。

(2)入院患者B関連(8月25日までの判明分)

区分	検査対象	結果判明数	
		陽性	陰性
医師	4	0	4
看護職員	10	0	10
医療技術者	2	0	2
患者	10	0	10
合計	26	0	26

(注) 市立奈良病院が検査を実施。

(3)検査の合計(8月25日までの判明分)

区分	検査対象	結果判明数	
		陽性	陰性
医師	4	0	4
看護職員	17	0	17
看護補助職員	2	0	2
医療技術者	2	0	2
患者	72	1	71
合計	97	1	96

(注) 市立奈良病院が検査を実施。

4 病院の対応

- ・ 8月19日
病棟①の消毒を実施
- ・ 8月19日から
病棟①の新規入院患者の受入れを中止

5 市の対応

- ・ 職員及び入院患者における濃厚接触者の判定、職員及び入院患者の健康観察の徹底、潜伏期間を考慮した適切な時期の再検査の実施及び症状が出現した時の速やかな検査実施を指導した